

令和 7 年度 大阪府立福井高等学校 第 2 回学校運営協議会 議事録

1 会長あいさつ

万博が終わり、大阪府が教育にさらに力を入れてくれることを期待している。
国際的な視点の変化に不安もあるが、生徒を守ることを引き続き何大切にしてほしい。
また、現場で奮闘する教員の心身の健康にも十分な配慮が必要。
今後も、生徒を中心に据えた教育の推進をお願いしたい。

2 校長あいさつ

万博に関しては、3 年生が進学・就職に結びつける形で夏休みを活用して参加し、1・2 年生は 10 月 10 日にまとまって参加した。会長の言葉を受け、生徒たちに積極的に参加を促し、参加した生徒には活躍の場を提供することができた。
教職員の働き方については、業務のバランスが取れてきており、現在は 3 年生担当の先生を中心に放課後の進路指導に力を入れている。
教室リニューアルについては、府立の生徒に還元できるよう取り組んでおり、蛍光灯の LED 化も進めている。

3 運営協議会委員・事務局員紹介

略

4 事務局より報告

資料番号	報告項目
1	教務部
2	進路指導部
3－1	活動支援部
3－2	地域連携
3－3	部活動
4	多文化共生
5	広報

5 意見交換

○中間考査の見直しについて

学年ごとの進路状況を踏まえた柔軟な検討が必要。来年度は 1 年生の中間考査期間中にガイダンス期間を設定するなど、中間考査の在り方について教職員で進路実現の観点から検討していきたい。
平野委員：中間考査の在り方についての検討は進路実現・社会理解に向けた前向きな取組み。観点別評価との関係も考慮が必要。

○総合学科の授業編成について

1 学年の生徒数が 100 人程度では総合学科の運営が困難。学年を隔てず授業開講できるか検討中。
平野委員：他校での実施例は知らないが、今後の検討課題として認識。

○教職員の働き方と進路指導

業務のバランスは整いつつある。現在、3年生担当教員が放課後に進路指導を実施中。

○施設整備・教室リニューアル

現在通っている生徒への還元を意識した整備を進行中。蛍光灯のLED化を実施。

○地域連携と生徒支援

梶西委員：引き続き福井高校と連携し、茨木市立北中学校の生徒にも多様な体験を提供したい。

平野委員：公立学校の意義として地域連携を強化し、対話的な生徒指導の時間を引き続き重視してほしい。

福田委員：地域福祉と引き続き連携し、ヤングケアラーなど課題を抱える生徒への相談体制を整備。

中野委員：進路決定が早期化する中、高校3年間の支援と卒業後1年程度のフォローも重要。生徒のモチベーション向上の取組みを希望。

校長：不登校生徒への支援として、空き教室を活用した登校支援を地域と連携して検討。

○福井高校の特色と評価

勝部委員：中間考査の在り方についての検討など時代に合わせた変化は必要。福井高校の「連携」を重視する姿勢は生徒にとって刺激となり、心強い。退学者が少ない点も高く評価。

令和7年度 大阪府立福井高等学校 学校運営協議会委員（敬称略）

番号	名 前	職 名
1	勝部 幸	元福井高校校長
2	平野 智之	追手門学院大学教授
3	梶西 学	「福井高校を育てる会」会長 茨木市立北中学校長
4	塩田 寛	福井地区自治振興会
5	福田 正幸	茨木市健康福祉部 支援員
6	中野 貴代美	本校PTA会長

事務局

番号	名 前	校務分掌等
1	村林 隆志	校長
2	梅本 修平	事務長
3	山村 宏昌	教頭

4	曾根 康介	首席・教務主任
5	村上 雄哉	生徒指導部長
6	川端 直子	進路指導部長
7	河野 竜也	活動支援部長
8	野村 達記	地域連携広報部長

今後の予定 第3回 令和8年2月4日（水）10時～ [校長室]